

科目名	小児科学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年	後期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

小児の精神的身体発達全般の基本的知識を中心に、言語聴覚療法に関する小児の諸問題について学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

小児の精神的身体発達全般の基本的知識と主要なこどもの病気についての基本的な知識について学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

言語や聴覚に種々の障害を有するこどもに対応する際には、成人や老人と異なるこども特有の生理や病的状態・心身の成長発育・こどもを取り巻く家庭や社会の問題、さらに主要なこどもの病気についての基本的な知識等を有することが必要であり、これらについての理解を深めることを目標とする。

回数	講義内容
1	こどもについて
2	小児保健
3	こどもの成長と発育
4	生理と栄養
5	こどもの種々の訴えと病気
6	感染と免疫総論
7	感染各論と予防接種
8	小児のマススクリーニング
9	腎疾患
10	循環器疾患
11	遺伝と代謝およびその異常
12	神経・筋・骨疾患
13	消化器疾患
14	呼吸器疾患
15	その他

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害 第3版		医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。